

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2023No.285】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

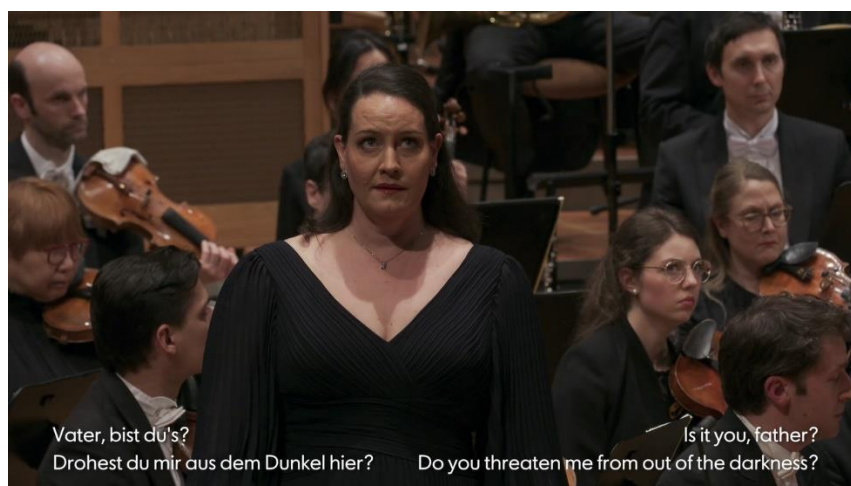
作曲家：R.シュトラウス

曲名：オペラ《影のない女》op.65 (演奏会形式)

演奏：キリル・ペトレンコ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/54505>

2023年4月14日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



ソリスト陣は以下のとおりです。

クレイ・ヒレイ(テノール (皇帝))

エルザ・ヴァン・デン・ヒーヴァー(ソプラノ (皇后))

ミヒャエラ・シュスター(メゾソプラノ (乳母))
ヴォルフガング・コッホ(バス (染物屋バラク))
ミンナ＝リーサ・ヴァレラ(ソプラノ (染物屋の妻))
ボグダン・バチウ(バリトン (霊界の使者))
エヴァン・ルロワ・ジョンソン(テノール (青年の幻影))
アグニェシュカ・アダムチャック(ソプラノ (宮殿の門衛、鷹の声、生まれていない者たちの声 2、侍女 2、子どもの声 2))
クセニア・ニコラエヴァ(メゾソプラノ (天上からの声、子どもの声 5、生まれていない者たちの声 6))
ヨハネス・ヴァイサー(バリトン (片目の男))
ネイサン・バーグ(バリトン (片腕の男))
ピーター・ホア(テノール (腰の曲がった男))
セラフィナ・シュタルケ(ソプラノ (生まれていない者たちの声 1、侍女 1、子どもの声 1))
フローレ・ファン・メールスヘ(ソプラノ (子どもの声 3、生まれていない者たちの声 3))
ドロッチャ・ラーング(メゾソプラノ (侍女 3、生まれていない者たちの声 4、子どもの声 4))
シャノン・キーガン(メゾソプラノ (生まれていない者たちの声 5))
セオドア・プラット(バリトン (番人たちの声 1))
ゲリット・イレンベルガー(バリトン (番人たちの声 2))
トーマス・モール(バリトン (番人たちの声 3))
カントゥス・ユヴェヌム・カールスルーエ
ヴロツワフ・ナショナル・フォーラム・オブ・ミュージック合唱団

今回も PC 経由で再生してみます。

今回も、Brooklyn DAC+に仮想アースの Crystal E が、DA-3000 に自作の仮想アースが使用されています。また、仮想アース Crystal Ep の導入(7)で報告したように Crystal EpY を Sonica DAC のアース端子に接続しています。

今回も、再生経路の仮想アースに加えて、電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(17)で報告した LAN ケーブルへの NRF-005T の適用を行っており、BPODCH の再生時には、ルーター／スイッチングハブ間およびスイッチングハブ／PC 間の LAN ケーブルへの処理が関係しており、さらに電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(18)で報告した PC から Sonica DAC までの USB ケーブルや SDIF 伝送のクロックケーブルと BNC デジタルケーブルも NRF-005T の処理を行っています。なお、今回からアンプとスピーカーの間にスピーカーアキュライザー SPA-7 を介在させており、PC には Crystal E Jtunr を、スイッチングハブには LAN iSilencer もセットしています。

3時間20分に及ぶオペラの演奏会形式の上演です。登場人物が多く、次から次へとダイナミックな歌唱が続きます。

オーケストラの方も、歌唱をバックアップするだけでなく、アルプス交響曲やツアラトウストラかく語りきのような、大掛かりで、驚くような仕掛けもある壮大な交響詩のようなところもあります。また、Act3のScene3では、ヴァイオリンのソロとソプラノのソロが抒情的に歌い上げるシーンもあります。

全般的には、合唱陣も含めて、大ホールをいっぱいを使い、壮大で広がり感もありながら、定位もしっかりしています。

これまでの仮想アースや電磁波吸収テープ NRF-005T、スピーカーアキュライザー SPA-7、さらには LAN iSilencer の効果で、ダイナミックな展開に破綻を見せません。

以上